

が け は し

栄西・栄東・丘珠地区版



東区くらしのサポーター養成講座

令和5年度 入門きっかけコースが開催されました！！（元町/栄東）

東区では、令和4年度より住民主体の助け合いの担い手育成を目的に「東区くらしのサポーター養成講座」を開催しています。昨年度は区内3会場で全11回の講座が開催され140人（延べ人数）の方が受講してくださいました。受講生の意見から 普段のくらしの中のちょっとしたことを、おたがいさまの気持ちでお手伝いする新たな取り組みにつながった地区もあります。助けつつ助けられるつながりのある地域づくりを目指した活動が広がり始めました。

今年はずでに元町地区、栄東地区で「入門きっかけコース」が開催され、講座を通してご自身の学びを深めるとともに、顔見知りになった受講者同士の交流も広がっていきました。

少子高齢化が進みこれからの福祉ニーズは多様化、複雑化していくとされています。

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域にお住いの方同士の支え合いが今後ますます重要になってきます。

サポーター活動や地域での支え合い活動に、参加・ご協力をお願いいたします。

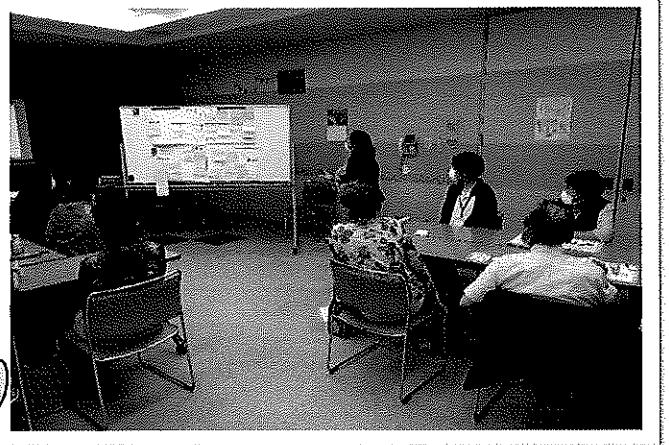


事例検討 →

「助けて！」って言えますか？
「手を貸すよ！」って言えますか？



← 助け合いの模擬体験【助け合いゲーム】



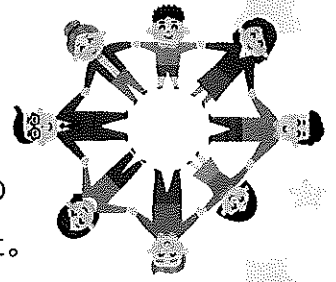
支えつつ支えられる地域づくりを目指して（栄東地区）

栄東地区くらしのサポーター養成講座を7月に開催しました。

入門編（全3回）はゲームやレクを通して受講者同士の交流を深めつつ、「地域や社会の動き」という内容からスタートします。事例検討会では自分とは異なる考え方の意見が出た際に、それぞれが持つ意見や考え方の違いに気づき、お互いを認めた上で意見の共有ができた機会になりました。

「近所にはおひとり暮らしの方がどんどん増えている」という意見から「顔見知りになって支える関係性を作りたい」「日常の会話や挨拶から助け合う間柄を育てたら」「自分のやれそうなことがわかった。何かできることから始めたい」など心強い声も聞こえました。

ご近所さん同士の温かくさりげない目配りや気配りが広がれば、支え合いの地域づくりはゆっくりと確実に広がって行くこと間違いなしですね。



栄西地区の新しい取り組みを紹介します♪

「栄西ちょボラ隊」

栄西地区在住のくらしのサポーター養成講座修了生が中心となり、6月に「栄西ちょボラ隊」（ちょっとボランティアの略）が発足しました！くらしの中のちょっとしたお手伝いをおたがいさまの気持ちでお手伝いする栄西地区の新しい取り組みです。

まずは広報活動から始めようと、隊員募集のチラシを作成し配布。その結果なんと小・中学生からも登録者が！夏休み中に開催した意見交換会では「年の差フレンズ」として一緒に意見交換を行い、9月には地域イベントに参加し「栄西ちょボラ隊」の広報活動とイベントの運営もお手伝いしました。「出来る人が、出来ることを、出来る時に！」をモットーに、老若男女問わず一緒に力を合わせて地域活動することが重要だという地域住民の声から出来た新しい仕組みの一つです。



【意見交換会での記念撮影】



【イベントでの広報活動とお疲れ様会】



発行・お問い合わせ先 札幌市東区社会福祉協議会 電話 011-741-6440
〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目1-1 東区民センター1階
第2層生活支援コーディネーター 熊谷（栄西、栄東、丘珠地区担当）

